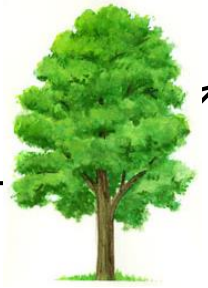




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年7月4日(月) No.5 文責 校長 島田 二郎



7月に入りました

7月になりました。令和4年度の始まりから3月が経過し、1/4が終わりました。これまでの子ども達の様子を見てみると、学習面・生活面ともに概ね落ち着いています。特に大きな事故やケガがなく、過ごせていることがなによりです。

学習面では、今年から家庭学習充実のための取組を始めました。すぐに効果が出るものではありませんが、多くの生徒と教師の家庭学習に対する意識が変わりました。生徒は、「ただ提出するためのノート」から「自分の学力向上につながるもの」へと変わり、教師は、「提出したかどうか」の点検から、「意味のある家庭学習になっているかどうか」の点検へと変わりました。そのため学習方法がなかなか分からない生徒には、お手本となる家庭学習ノートを提示したり、複数の学習方法をアドバイスしたりしています。今年、『学力向上につながる「実」のある家庭学習ノート』への転換を図っています。

また、コロナ禍ではありますが、ある程度の教育活動はできています。特に今年は、3年ぶりにプールの授業を実施することができるようになりました。子ども達が待ちわびていたプールができるようになり、皆、大喜びです。安全教育の面でもプールの授業が実施できてよかったと思います。(体育の授業では、着衣泳も予定されています)



これまでの3か月の学校生活をスポーツの試合に例えると、『第1クォーターが終わり、西中選手達は立ち上がりがよく、今後の活躍が楽しみ』と言ったところでしょうか。まずは7月もしっかりと学校生活を充実させ、夏休みを安全に過ごし、8月以降につなげてほしいと思います。

◎ 引き続き、熱中症の対策をお願いします

気象庁は6月28日に「北部九州等が、梅雨明けしたとみられる」と発表しました。これは、統計を取り始めた昭和26年以降、最も早い梅雨明けだそうです。学校ではとても暑い日が続いています。活動内容や時間によってマスクを外すように指導をしたり、水分補給や休憩を適宜とるようにしたりしています。

教室は冷房が入るようになり快適ですが、逆に登下校や体育の授業、部活動など、冷房が効いていない場所での活動が要注意となります。近年の異常気象から、『命を守ること』が大切です。ご家庭でも注意喚起をお願いします。

熱中症に気をつけましょう!

